

四万十市

サテライト開催決定

防災分野の女性の人材育成講座
わたしたちで守る！ 高知の未来

多彩な講義とフィールドワーク！

女性防災プロジェクト2026

サテライト
会場
15名

ソーレ
会場
30名

受講料
無料

近年の自然災害の激化。
そして高知県には近い将来起こるとされている南海トラフ地震。
これらに備える防災・減災活動にはジェンダーと多様な視点が不可欠です。
プロジェクトでは、防災の知識や課題、地域活動を実践するために役立つ内容を学びます。

期間

2026年4月～8月

全日程託児あり！

全5回（6月実施フィールドワーク含む）

会場

ソーレ会場：こうち男女共同参画センター「ソーレ」
サテライト会場：四万十市役所ほか

対象

全ての回に参加可能であり、以下の要件を満たしていること

- ① 高知県内在住・在勤・在学の女性で、防災活動への意欲がある方（高校生以上）
- ② 電子メール等オンラインでの連絡及び受講が可能な方
- ③ 防災士または自主防災組織に所属あるいは講座終了時までに所属予定であり、講座で学んだことを地域活動で実践可能な方

- 定員に達した日をもって受付を終了します。
- 本講座は、平成29年からこうち男女共同参画センター「ソーレ」主催の女性防災プロジェクトを修了された方も受講することができます。
- 本講座修了生は、こうちJBL（女性防災リーダー）として登録されます。
- 地域性を考慮し、受講される方を決定させていただくことをご了承ください。
- フィールドワークのバス代（ソーレ会場のみ）・レクリエーション保険料をご負担ください。

定員

ソーレ会場：30名 サテライト会場：15名



お申込みは
ソーレHPから
3月7日（土）
9:00受付開始

高知 ソーレ

詳細・お申込みはホームページをご覧ください。

お問い合わせ

TEL 088-873-9100 時間 9:00～17:00

休館日：第2水曜日・祝日、年末年始

こうち男女共同参画センター「ソーレ」

URL

<https://www.sole-kochi.or.jp>



こうちJBL

2026 4月~8月 女性防災プロジェクト プログラム

ソーレ会場：こうち男女共同参画センター「ソーレ」ほか
サテライト会場：四万十市役所ほか

サテライト会場：6/7日
10:00-12:30
ソーレ会場：6/14日
9:30-14:30
予定

フィールドワーク「未災地ツアー」で
被災時のイメージをつかむ



第1回
4/19日
10:00-16:00

第2回
5/24日
13:00-16:00

フィールドワーク
6月

第3回
7/12日
13:00-16:00

第4回
8/30日
13:00-16:00

第1回 災害とジェンダー

10:00~12:00 **オープン講座**
(どなたでも参加可能)
13:00~16:00 受講生のための講座

オープン講座では黒潮町の危機管理及び防災行政のあり方を知り、防災におけるジェンダー平等の視点の重要性を理解。
午後からは防災活動の実際を学び、アクションプラン作成のイメージを得る。

第2回 防災への多様な参画

日常からできる防災を組み込んだ地域活動を知る。
また災害時の行動や、地域の状況のイメージを得たうえで、被災時に発生する様々な困難を理解する。
(講座とグループワーク、ジェンダーHUGの紹介など)

フィールドワーク

ソーレ会場では高知市三里地区を、サテライト会場では宿毛市大島を実際に歩き、被災時のイメージをつかむ『未災地ツアー』を行う。
※このフィールドワークは参加者追加募集予定(男女不問)

第3回 防災課題を意識する

フィールドワークで体験し、見えてきた地域の避難リスクや、資源となり得るものは何か？
地域防災の可視化と地図化を行い、被災地支援の現実に照らし合わせ、防災課題を意識する。

第4回 アクションプランを作る

他団体や修了生、防災行政担当者との意見交換や情報共有を行い、地域活動を行うためのアクションプランを仕上げる。

講座の内容は変更になることがあります。

講座サポーター：こうちJBL(女性防災プロジェクト修了生)の皆さん

講師紹介

※掲載している講師の所属・役職等は、チラシ作成時点のものです。

第1回

村越 淳さん

黒潮町役場 情報防災課 課長

1992年 旧大方町役場入庁、税務課→町民館
⇒総務課→健康福祉課→まちづくり課
2017年 情報防災課消防防災係長⇒2020年 情報防災課長補佐兼消防防災係長⇒2022年から情報防災課長
現在危機管理9年目のスペシャリスト。



第1回、第4回

斉藤 容子さん

関西国際大学 客員教授

大学卒業後、(特活)CODE海外災害援助市民センターにて海外の被災地での復興支援(アフガニスタン、イラン、スリランカ等)にあたる。
2005年イギリス・ノーザンブリア大学災害と持続可能な開発コース理学修士課程を修了後、国際連合地域開発センター(UNCRD)防災計画兵庫事務所で研究員。2013年、関西学院大学総合政策学部博士課程修了。2012年より人と防災未来センター主任研究員・准教授。現在は人と防災未来センターリサーチフェロー、関西国際大学客員教授、神戸市防災会議委員(女性部会長)などに従事。



第2回

大槻 知史さん

高知大学 地域協働学部/防災推進センター 危機管理分野

防災推進センター危機管理分野教授/立命館大学歴史都市防災研究センター客員研究員/福島大学地域未来支援センター客員研究員。地域の方と一緒に、「いつも」の暮らしに無理なく防災を組み込む活動を進めている。



第3回

山崎 水紀夫さん

さんすい防災研究所代表 / 高知防災プロジェクト代表

元高知県庁職員。98豪雨のボランティアセンター代表。東日本大震災時には震災1週間後から岩手県大槌町での支援活動を行い、能登半島地震(2024年)においても、長期間にわたって現地入りし、これまでに26を超える災害現場において被災地支援を行っている。サークル顧問や防災団体代表として、ほうさい大賞、消防庁長官賞、レジリエンスアワード準グランプリなどを受賞。セールスポイントは『深い専門性より、バランスを重視した支援活動と癒しの心』。



この他、防災・減災に関わる多彩なゲストをお招きする予定です。